

【様式 gc2-2】

大学院認定遺伝カウンセラー養成課程 認定更新申請書

西暦 年(平成 年) 月 日

認定遺伝カウンセラー制度委員会 殿

当施設は、認定遺伝カウンセラー制度規則における大学院認定遺伝カウンセラー養成課程に認定されていますが、認定期間が西暦 年 月 日に満了します。つきましては、引き続き養成課程の認定を受けたく、認定遺伝カウンセラー制度規則に基づき、必要書類を添付の上、ここに認定の更新を申請します。

添付書類

- 1) 養成課程にて修了した人数又は在籍中の大学院生
- 2) 大学院修了し認定遺伝カウンセラー資格の取得者
- 3) 前回の認定からの変更点がある場合は、その主要な変更点
- 4) 実施している養成課程カリキュラムの概要
- 5) 認定養成課程の講義、演習、実習担当教員リスト(臨床遺伝専門医及び指導医、認定遺伝カウンセラー及び指導者に該当する専任・兼任・非常勤の教員は、各資格認定証のコピーを添付)
- 6) 到達目標標準カリキュラムと養成課程カリキュラムの対照表

(フリガナ) 認定養成課程 正式名称	()		
同上所在地	〒	電話 :	FAX :
(フリガナ) 研究科長 職名・氏名	職名・氏名		公印
(フリガナ) 養成課程 責任者名	所属・職名・氏名		印
養成課程 HP アドレス	http://www.		
事務連絡先	担当者氏名 : 所属部・課(科)名 : 電話 : FAX : E-mail :		
養成課程登録番号	P -	初回認定年月日	
現在の認定期限	西暦 年 月 日 ~ 西暦 年 月 日		

1) 養成課程にて修了した人数, および在籍中の大学院生の人数 (養成課程認定以後の現在までの状況を記載する)

養成課程修了者

修了年度	人数	備考
平成 年度修了	名	
合計	名	

養成課程在籍者 : 名 (うち1年次 名、2年次 名)

3) 前回の認定からの変更点がある場合は、その主要な変更点を具体的に記載

4) 実施している養成課程カリキュラムの概要

1. 養成課程の名称：
2. 養成課程責任者名（所属および職名）：
3. コースの概要（設置目的、設置年月日、大学におけるコースの位置づけ、カリキュラムの特徴、教員組織の概要、修了単位認定方法など）

4. 学生の定員と選抜入試の概要

6) 到達目標標準カリキュラムと養成課程カリキュラムの対照表

標準カリキュラム（日本遺伝カウンセリング学会誌、24（2）63-78, 2004 より）						養成課程カリキュラム		
到達目標がコ ー	科 目	到達目標該当箇所	単位	時間	方法	科 目	単位	時間数
I	基礎人類遺伝学 (1)	1. 1) 遺伝学史 2) 細胞遺伝学 3) 分子遺伝学 4) メンデル遺伝学 5) 非メンデル遺伝 6) 集団遺伝学と遺伝疫学, 家系 分析 7) 遺伝生化学・遺伝薬理学 8) 生殖・発生遺伝学 9) 体細胞遺伝学 10) 腫瘍遺伝学 11) 免疫遺伝学	4	60	講義			
	基礎人類遺伝学 (2)	染色体・DNA 検出と正常・異常の識 別, 家系図作製・遺伝確率	2	60	演習			
	臨床遺伝学	1. 12) 遺伝医学・遺伝医療	2	45	講義(1) 演習(1)			
	遺伝サービス情報 学	遺伝関連情報・情報検索方法	1	30	演習			
	遺伝医療と社会	4. 遺伝医療と社会	1	15	講義			
	遺伝医療と倫理	3. 遺伝医療と倫理	2	45	講義(1) 演習(1)			
I, II	医療カウンセリング 概論	2. 保健医療の場に来る健康問題 を持つ人々の心理的特性とその対 応の基本	1	15	講義			

	遺伝カウンセリング	2. 事例によるカウンセリングの実際, 含む文献購読	3	75	講義(1) 演習(2)		
II, III	遺伝カウンセリング実習	遺伝カウンセリングを行っている施設で遺伝医, 遺伝カウンセラーの指導のもとで実践的に学ぶ	6	180	実習		
			22	540			
III	遺伝カウンセリング研究		8		演習		
			30				

☆ 1単位の時間数は, 講義 15 時間, 演習 30 時間, 実習 30 時間で計算, 遺伝カウンセリング研究は単位数のみで提示

その他の修士課程カリキュラム (例: 学生の卒業学部の専門性に対応して選択科目を課している場合など)

科目	単位	時間数	添付資料

学年進行表・時間割・シラバス等があれば添付してください。